

# 畜産ニュース

## ○めん 山羊人工授精講習会開催

来る9月7日から16日まで10日間、津山市大田の県酪農試験場で第3回めん・山羊人工授精講習会が行われる。

受講者はさき頃受講願の出されていためん・山羊人工授精師資格の取得希望者18名で、講習会受講後は終了証書が授与されるが、さらに9月下旬に同試験場で行われる免許資格試験に合格したのものには、全国共通のめん・山羊人工授精師免許が受けられる。

## ○極小卵の格差 15円となる 県経済連の阪神向け出荷鶏卵

県経済連は、極小卵に対して去る8月20日から1kg当たり30円の格差を付けて取扱ってきたが、同連では9月19日出荷のものからこれを15円に縮めることにした。

これは8月半ばごろから極小卵の香港向け輸出が好調となったことや、そろそろ今年の春ビナも普通卵を産むようになってきたためである。しかし、今まで13kg入で290個以上の極小卵であったものが、これから280個と10個入り数の基準が少なくされた。

## 群・市地域の畜産共進会

県畜産共進会は10月10日から13日まで4日間、今年は和気郡和気町で開催されるが、これにさきだつて行われる各群、市での畜産共進会開催の状況は次のとおり（判明分のみ）

## ○福田種鶏場山上氏 欧米の養鶏状況視察に出発

岡山市福田の福田種鶏場長山上茂吉氏は、農林水産性向上会議による派遣団の一員として、養鶏部門担当で米国の養鶏事情を視察するため、去る8月21日22時30分、東京国際空港を出発、訪米の途についた。

なお同氏は一行と共に約2ヵ月間の米国内視察旅行の後、さらに単身でヨーロッパに渡りイギリス、ベルギーなど6ヵ国をまわり、11月下旬に帰国の予定。

## ○養鶏経営改善講習会

去る8月31日、9月1日の2日間、岡山市田中地先、岡山県養鶏試験場で、県畜産関係職員（農林事務所、家畜保健衛生助）約40名が出席し、養鶏経営改善講習会が開催された。

この講習会では、本年5月1日施行された養鶏振興法による標準鶏の認定検査、ふ卵場の登録等についての説明のほか、最近の著しい養鶏の発展にともなう新しい経営、管理、衛生等の技術について研修を行った。

## 秋ビナ飼育の注意点

このごろは昼間の高温に比べ夜間の冷え込みがひどいので、育スウ器内の保温にはとくに注意する。育スウ器と外部の温度差が摂氏15度以上になるのは好ましくないので、夜間はむしろなどをかぶせて保温する。秋ビナは体が小さい割りに、早く

産卵しすぎるため、極小卵が多いことが欠点、このため、密飼いをさけ十分運動させるとともに、夜間点灯して飼料を十分与える時間をつくる。3.3平方m当たりの飼育羽数は30日目50羽、40日目30羽、60日目25羽、90日目15羽が標準。密飼いと、換気不良になり、また冷え込みにあわせると、カゼをひかせ、目づれになるので注意する。カゼをひいたヒナはサルファ剤（0.5%～1%）を水にまぜて飲ませ、早く手当をする。

協旭東 同組農 組業	協山同 同場協 同組農 組業	山場協 同農 同業	推山進 地区協 農議	蒜山 地区協 農議	改竹良 之谷 組夏 合牛	竹之 谷 組夏 合牛	菅田 〃 〃 〃	真庭 〃 〃 〃	高梁 〃 〃 〃	井原 〃 〃 〃	赤磐 〃 〃 〃	御津郡畜 産連	また は組 合名	開 催 畜 連 期 日	場 所	出 品 家 畜 頭 数	摘 要	
10 ・ 4	9 ・ 22	9 ・ 10	9 ・ 26	10 ・ 10 ・ 2	9 ・ 28 ・ 9 ・ 30	10 ・ 1 ・ 10 ・ 2	〃	〃	〃	10 ・ 1 ・ 10 ・ 2	9 ・ 29	9 ・ 26			西大寺市向州	乳牛	五〇	第六回
															二国道北側	乳牛	五〇	第六回
															笠岡市干拓第	シ乳牛	六六	第三回
															久見家畜市場	和牛	四四	第一五回
															千屋家畜市場	和牛	七〇	第一六回
															寺元家畜市場	和牛	八五	第一六回
															落合小学校	和牛	三五〇	第九回
															高梁市	和牛	五〇〇	第六回
															井原家畜市場	和牛	乳牛	第一〇回
															瀬戸	和牛	乳牛	第一〇回
															金川家畜市場	和牛	七〇	第一〇回